

## 『木目込人形に魅せられて』

今から二十五年前、昭和五十一年に長女が結婚し孫が生まれました折に、自作の人形を孫に送りたいと思い、丁度私の伯母が東京人形学院を出て、神奈川県大和市で人形教室を開いておりましたので、早速伯母の人形教室に通うことに致しました。叔母の家に二泊三日、また、叔母も私の家に二泊三日というように十年間通い続け、その間になんとか本科、高等科を卒業し、一人でぼつぼつ人形作りに励んできました。

そのうちに知人に教えてほしいと申し込まれましたが、資格がないと出来ないことが分かり、昭和六十一年より学院に通い、六十三年十二月七日「総合部会師範一級」の免状を取得「緋知」という名前をいただき、平成元年より教室を始めました。生徒も三人五人とだんだん増えて人形を作る楽しみを分かち合いながら励んでまいりました。

嫁いだ娘への初節句の高砂人形、そして三月のお雛様など、また、小さいものでは、干支、団地サイズの可愛いものから、大きいものは立雛、七段飾りの十五人揃いなど、様々なものに取り組みようになり、一層身が入り丁寧な心を込め、出来上がりも立派なものをと心掛けてまいりました。

何事もそうですが、三年五年と辛抱して習いますと立派な作品ができるようになります。毎年市の文化祭には、今までの生徒と一緒にたくさん作品を出展し、幸い好評を博しております。私も今年は七十六歳になります。二十五年間に仕上げた作品も現在二九一体を数えるようになりました。

私を教えてくれた叔母も九十一歳になりますが、まだまだ元気で人形を作っております。

自分の手で一つ一つのものを完成させる、そして出来上がった作品を手にしたときの喜びは、たとえようありません。皆さんも子どもやお孫さんに、小さなものから作ってみませんか。

### 問合先

藤江知恵子(緋知) ☎(43) 4678



文化祭での様子

## 生涯学習通信 生涯学習推進会議調査・啓発部会



### のびのび いきいき 生涯学習

### 生涯学習グループの紹介

現在、都留市内において各種団体に所属し、活動している学習グループや自主的に学習しているグループを紹介します。

## 子どもたちの健やかな成長を願い活動する

### 「つる子どもまつり事務局」

今回都留市文化協会子ども文化部門に入会することになりました「つる子どもまつり事務局」です。文化協会に入会することができ、心からうれしく思っております。

私たち「つる子どもまつり事務局」は、実行委員会を開き、毎年五月の第三日曜日に行われる、「つる子どもまつり」を開催・運営しています。つる子どもまつりは、一九六九年に「子どもたちに地域の中で健やかな成長を」という願いから、都留文科大学の学生と都留市民が集まり、一体となって創り始めました。そして、今年の五月二十日で第三十二回を迎えました。このように長く続けられたのは、学生だけでなく市民の皆さんと一緒に、都留における子どもたちを取り巻く環境や現在の子どもたちの状況について話し合い、「地域」という視点で子どもたちに何を伝えたいのか、どのように育って欲しいのかを考えることが出来るからではないかと考えます。

毎年、つる子どもまつり当日には約七〇〇人の子どもたちが遊びにきます。今回は、「皆の笑顔が出会う場所」をスローガンに、都留文科大において開催しました。

まず一日の始まりである「開こく式(開会式)」の後、午前中は、「各々に企画」と呼ばれる市民参加団体・実行委員による各種コーナー企画の紹介を行い、午後からは参加者全員で工作を行い、大勢で遊び、最後に「みんなの広場」に集まり、一つの輪になってダンスを楽しむ会が行われました。私たちがつる子どもまつりを企画・運営していく中で多くの人と出会い、交流する素晴らしさ、皆で一つのものを創り上げる素晴らしさを感じるように、子どもたちにも「つる子どもまつり」という特別な一日を通して多くの人と触れ合い、一緒に遊ぶことの楽しさを感じて欲しいと思っております。

また、子どもたちが、いろいろな体験をすることで、自己の確立や視野の拡張といった精神的な豊かさを育んでいって欲しいと願っています。

### 問合先

松尾奈緒美 ☎(45) 3726



子どもまつりの様子